K・I・E
けいばい
R-18

×

あやつり 結翔（ゆうと）
- 公安警察
- 童貞(知識あり)
- ワーカホリック
- そして…妖（まもの）ハンター

夜空（よぞら） シュミット
- BND エージェント（スパイだぜ）
- 元男子 ♂→♀
- 処女(男子だった頃はあり)
- そして…魔法使い

#1

妖（あやかし）。

解決不可能事件を解決するための特殊警察がある。

名づけて
公安特殊科。

秘密組織の公安警察の中でも存在しない者として、全員、恐るべき異能力者たちであった。

この者たちが会って命を賭ける存在はいわゆる解決不可能事件の主役

先日二十二時頃、■■市■■町で正体知らずの少女と変な影が目撃された。

例のインチキ霊媒事件に関わった可能性もある。注意して解決せよ。

あやつり。

はい。

あやつり 結翔（ゆうと）
公安特殊科

今度は失敗は許されない。その意味をよく考えとけ。
歓迎することはないな。
今度外国のエージェントが合流する予定だ。
一応協力しな。
万が一奴が作戦に邪魔する場合…
好きに処分しろ。

インチキ霊媒事件…甘く見ることではない。
邪魔はさせん。

やつの手口は随分長い時間、広い地域を舞台に何も知らない者たちをごまかして妖の器にするものだ。

多分妹も、その件に関わって…

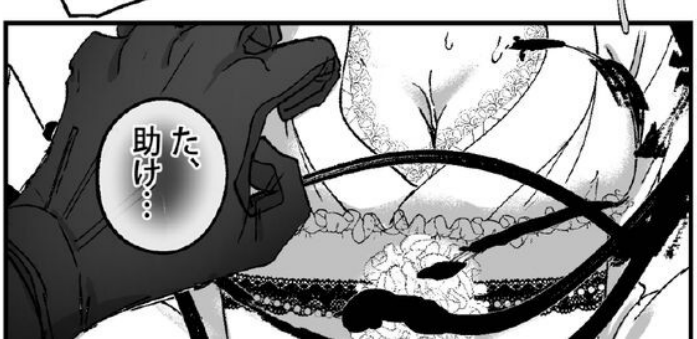
※Bundesnachrichtendienst(ドイツ連邦情報局)

特にお前みたいな
無防備の女は。

お前、所属は？
どうやってこの車に乗った。
道にも迷ったか。
この車は公務のため、勝手に乗っちゃダメだ。

ふん。確かにお前から見ると、私は怪しいかもしれない。
だが！上官から聞いてなかったのか？私は！

なのに、ん…
これ、なぜ…抜け出そうとするほど締め付けられる…


た、助け…

今回のパートナーなんだよ！
生意気な奴！

……
この車は許可されなかった奴が乗ったら封印される特殊な車だ。
だからお前みたいな無防備な女は絶対乗れない。

……
……

ドイツのエージェントだと？
どうやら若葉マークはお前の分だそうだ。

怪しい連中だ。

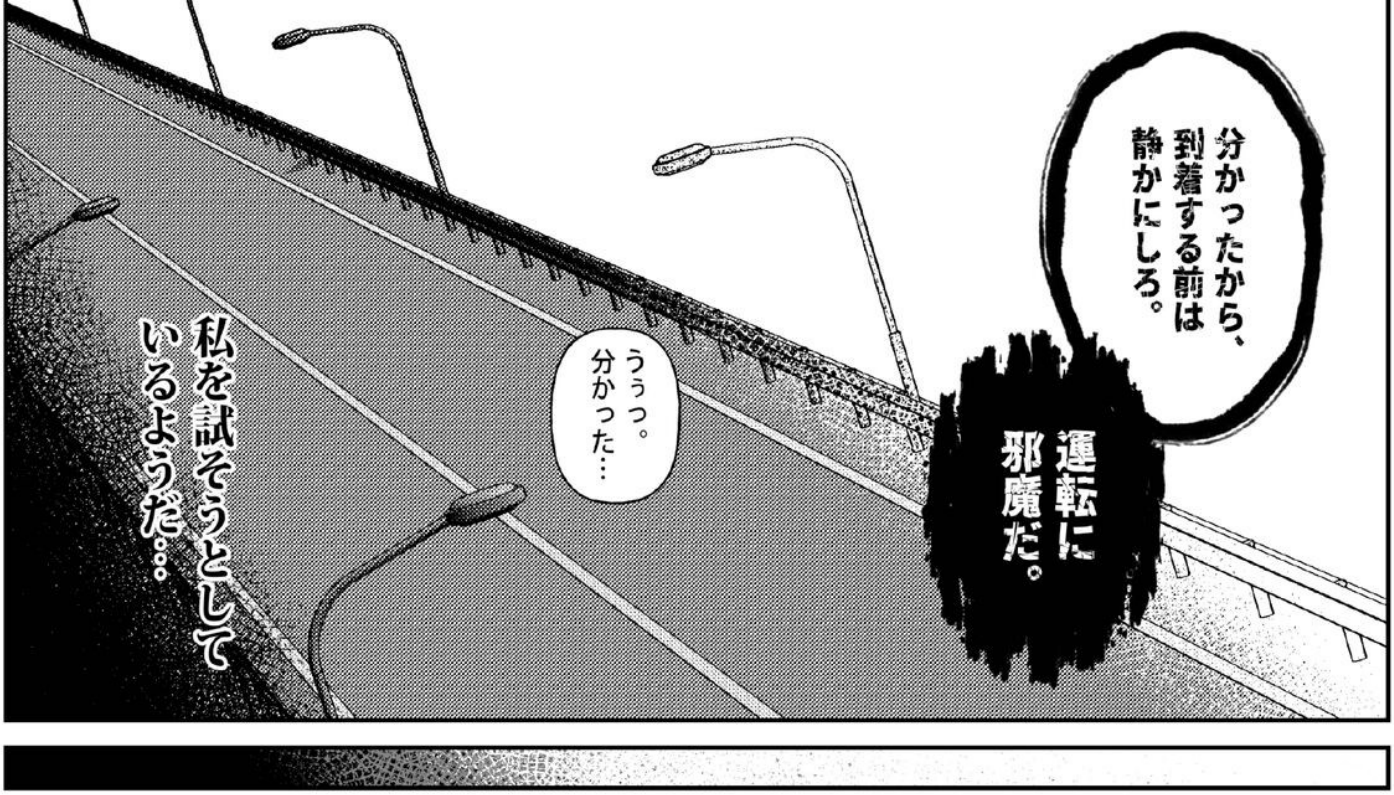
油断すると……

弱い。
まるでカステラを
持ち上げるような
柔らかさだ。
ドイツの
エージェント…
確かに、
「ヴァルハラ」
だったか…

公安と同じく
妖事件を担当する
所だったな。
肉体の
能力は
一般人
以下か。
油断できない
魔術師たちだと
聞いたが…
こんな柔らかい
女を送るとは…
ヴァルハラは
なんのつもりだ…
色々
邪魔になる。
今回の任務は
日本ですか？
そう。
随分長く
なりそうだ。
使えそうな
エージェントの
データをくれ。

伝説の魔法使いであり、伝説のスパイだ！

どんな手を
使ってでも
陥落させるっ!!
さてお前、
なんだかんだいって
女子に弱い所を
みると…
ドウテイ
だな?
ふぅ
そう心配するな。
私は有能なエー
ジェントだから、
役に立つ…
タッ
やはり
油断しては
いけない!!
ああぁぁっ、
テっメエ!
キュッ
キュッ
い、痛い!
これは外して
話をしよう?
ふ、服!
やばいっ
て…!
どうやら
公安は
しの


分かったから、到着する前は静かにしろ。
運転に邪魔だ。
うぅっ。分かった…
私を試そうとしているようだ…

■■市■■町
妖事件発生届区域
おぉ、ここだな！
■■市■■町！結構広いな！
田舎を想像したのに…
…そう。大騒ぎするな。
このくらいの広さなら妖の捜査も何日掛かるんじゃない？
宿を探そう！
宿、か。

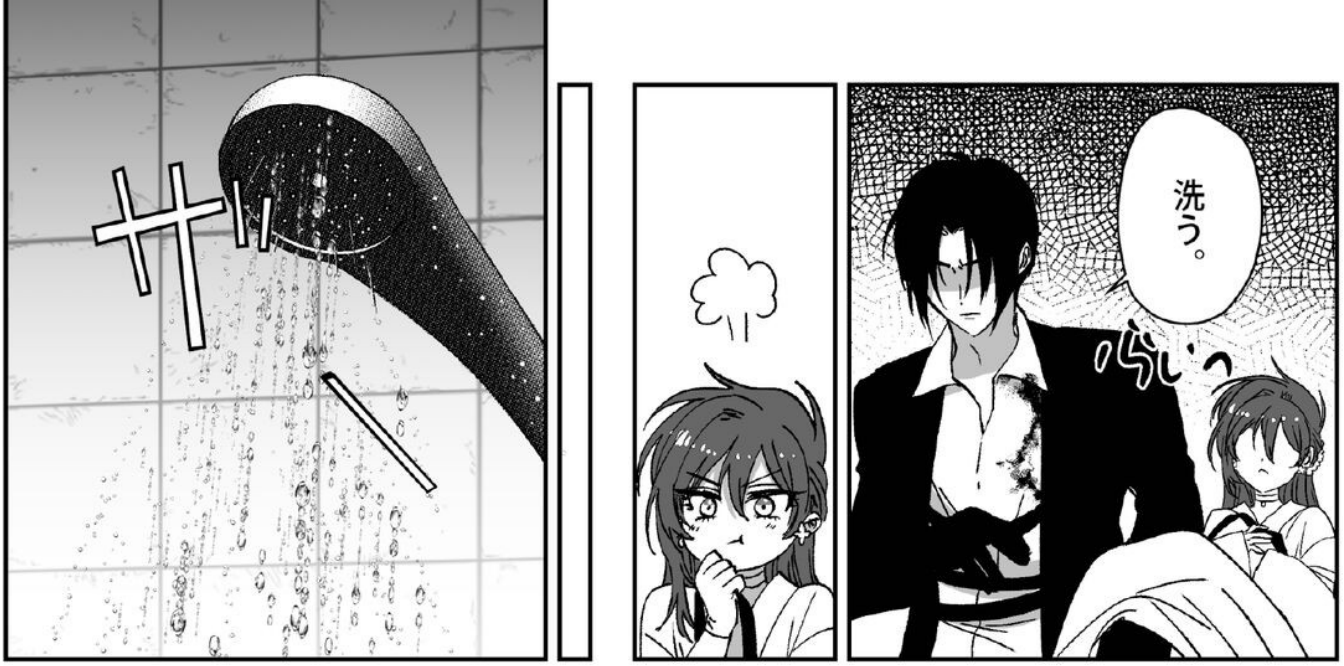
それなら
すでに準備
している。
えっ?!
おぉ、
5星!!
日本の公安は
金持ちって本当
だったのか!
いこう。
最上階の
部屋だ。
SUITE 501
わあ!
これほどいい
部屋は久し
ぶりだな!
約30年
くらい?
ソファが
ふわふわ!
だな!
お前も休め。
長い時間
運転したか
ら?
?
日没の前
には帰って
くる。
そこで
大人しく
していろ。
ピン
ガチャ
はっ
Keep out
ガチャガチャ

ようやく静かになったか…
あ、あいつ!!
……
我慢するもんか!
見回り用ファミリア
見回りしかできない。
好きにしろ。
パタ パタ パタ

捜査初日。
影と少女の行方を探す。
証人によってたどり着いた場所は
放置された廃工場の入り口。

恨むだろう。

この…
遅…
バカめ!!
腹減ってはないか。
……
様をみろ!ボロボロだぞ!
ったく!!バカ!!
一人で行くからこうなるのだ!!
お前に言われる理由は…
あるか…
むむむ。
これ脱いでみろ!
もみ
もみぃぃ
おい。何をする。
手当が必要だろうが!
ピンポーン
あうっ



あの妖魔、
いつもの
相手とは
違った。

やはり一人で
は力不足、か…

しかし情報を
ヴァルハラに
渡したくもない…

なによりあれは
妹の事件と…

はあ…

そして、

魔術師のやつが
思ったより
か弱いので役に立たな…

バ

ン

？

卑怯者め。
逃げる気か?!
ちゃんと傷が
治るまで
逃すもんか!
?!
いきなり
何の真似だ?!
ナッ
まあ、いいか…
こいつが脱いだ
わけでもないから。
足がとくに
痛そうだな。
私の魔力で
治して
あげる!
……
適当に
放置すると
興味を失って
帰るだろう…
もみもみ
おい。
……
うん?
さら
もみ
もみ

そ…んなに
さわると…

その、
…？
体、が…
…？
…？
…ん？
？
な、何これ…

すごい…
？
？
こんなに
大きいの…
初めて見た…

？

ちょっと触られたくらいで…こんなに大きくなって
これヤバイ…
えらそうに言っても結局お前も
ものすごい生命力…♥
気配を感じただけで濡れた…
普通の男の子だな…♥
大変だ…
指入れてずぷっずぷっしたい♥
いや…
こいつとセックスし…あれ？

し、
しっかりしろ、俺!!
俺は男だぞ!!
かぁぁぁ
いまは訳あって人形に魂を入れ込んだけど…
ふふ。私は女になっても美しいな。
はいはい。
本質は伝説の魔法使い、伝説のスパイなのだ!!
なのに、なのに、ドウテイ野郎がチン○立てたくらいで…
男の頃の顔

こ、こいつ
なんだか
様子が
おかしい。
……

おい、
お前……

これ入れたくて
ムラムラするなんて……！
ドロォ

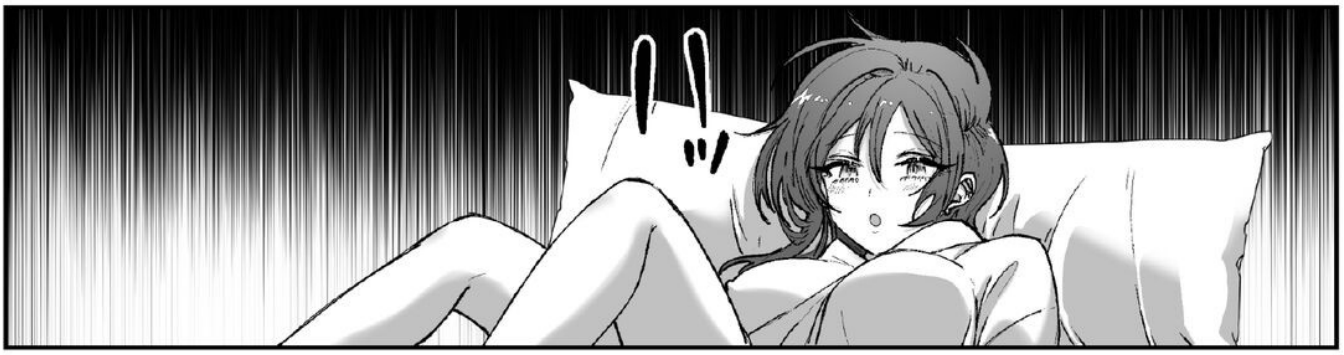
大…
ん…
丈夫か…
ぺろ♡
熱は…
高くなさそう

!!
じゅるる

だが…

どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ
どくんっ

……
気を
……
失ったか
……
まぁ…



起きたか。
手間がかかるやつだ。
安心しろ。何もしてない。
うそ。着替えながらあちこち触ったんじゃないの？

先に人の裸を見たのは誰だ。
そしてそのくらいは妹の世話を…

何でもない。

回復魔法は私の専門じゃないからか、魔力が予想以上に早く無くなったそうだ。
みっともない姿を見られたな。忘れろ。

…別にみっともないとは思わなかったが、
魔力が無くなるとお前は誰にでもくっついてるのか。
だ、誰にでもはないぞ！誰にでも、は！
今日は私もよく分からなくなって…

……

…そうか。

二つ日。
わがままに負けた。

ずっと思ったが、その着物は少し目立つんじゃないか？
どこで買ってきた？

ん？これ？
言わなかったっけ？私はハーフだ。これは母の遺品。
めだつ？

こうすると普通に恋人…いや、
夫婦に見えると思うよ。

夫婦か…
確かにそんな接触は
夫婦の中でしかしないな…

私もずっと
気になってた。
この傷。
フニ

痛そうだな。

妹がいた。
物心もつく前に親から捨てられて妹とたった二人きりの家族だった。
成長した後は組織の意思で別れ、遠い所で任務してきた。
でも私も妹も、いずれ再会する日を夢見てた。

お兄ちゃん、
お兄ちゃん！
ゆい！
お兄ちゃん！
これだけできれば
幼い頃みたいに
一緒にいられるよ！

再会はした。
したが、
届かなかった。

この傷は…

妹を救えな
かった惨めな
兄の証だ。

あ。だからか。

組織を脱走したのはそのためか。

何を言う。

……ならば精一杯褒めるべきじゃないか。

惨めじゃない。

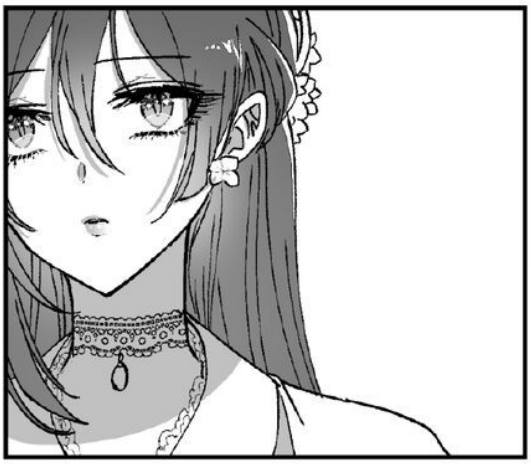
こいつは、一人だから。

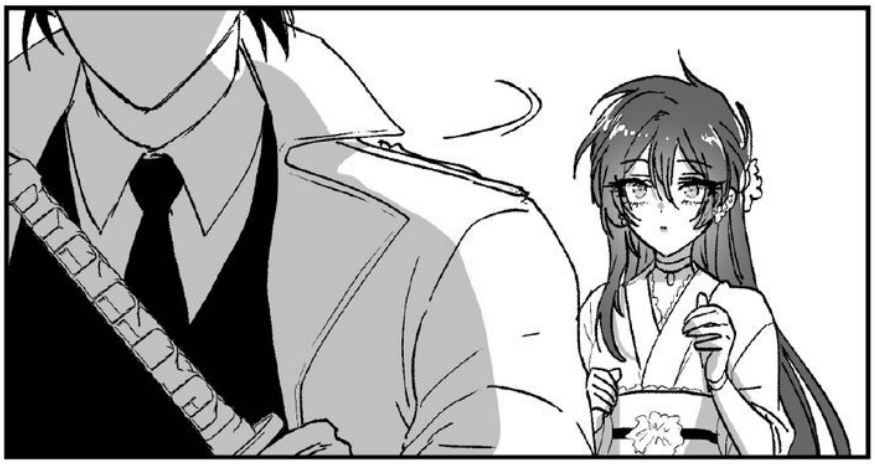
そんなはずない。

お兄ちゃん。

やっと、また会えたね。

妹さんは最後、お前に会って最高に幸せだったはず。



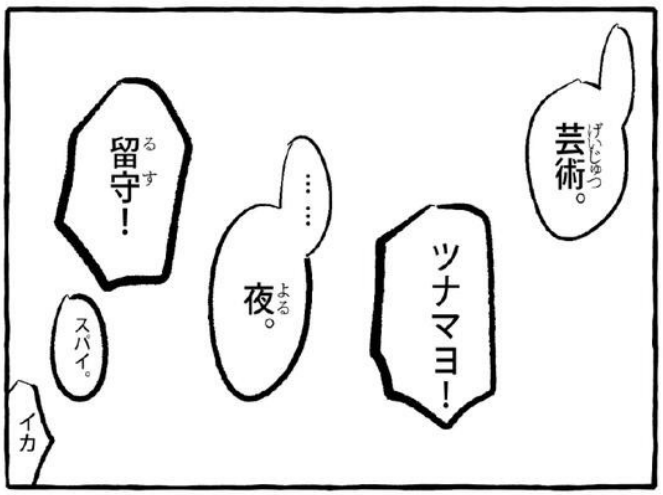


行く。
邪魔になると
置いて行く。

一緒に行く！

お、おい！
待って！
足早すぎ！
置いていかないでよ！

大人しく



しりとりをした。

#2

…で、
お前を迎えにきたのは妖の待ち伏せだった、のか。
ああ。
公安からもらった情報とは随分違った。
だったら…
公安が私を消すつもりじゃなかったら、きっと誰かの計画だろう。
そしてその誰か、とは…
例のインチキ霊媒事件に関わった可能性が高い。
……
やつには古いカリがある。

訳ありそうだな。
借り？
ただの、
ありふれた人生の汚点だ。
スパイのくせに
行動にすきが多すぎる。
そういえばお前、ヴァルハラの魔法は見たことあるか？
ホテルで見たものとは違うぞ？トビキリだぞ？

ハニートラップ…かも。
♪~
よっと。

何がとびきりだ

……
いくら協力関係だとしても…
初日から…
ト
ゆうと！
何だ、魔術師。
魔法使いだ！
毎度近い。
正体を知らない少女が一緒に目撃されたと言ったな？
うむ。
ああ。
その女の子…

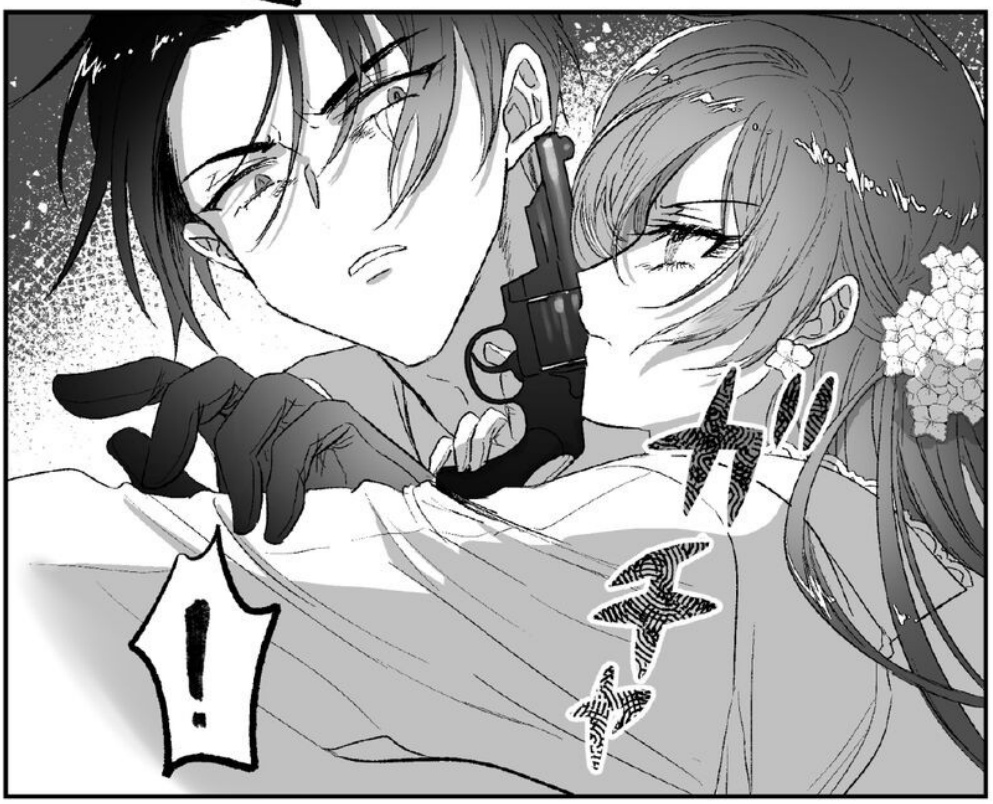
どうやら
山の神社に
隠れたみたい。
何するんだい？
？
口は閉めておけ。
舌を噛むかもしれない。
な
スッ
にっ!!
ガバッ

高ーいっ!!
バカゆうと!!
飛ぶなら
飛ぶと先に言え!
バカト!
うあっ…
たっ
何が問題だ…
魔術師は
空も飛べると
聞いたが。
高い所が
怖いか?
キス
そうじゃなくて!
ちゃんとコミュニ
ケーションして!
パートナー
と!

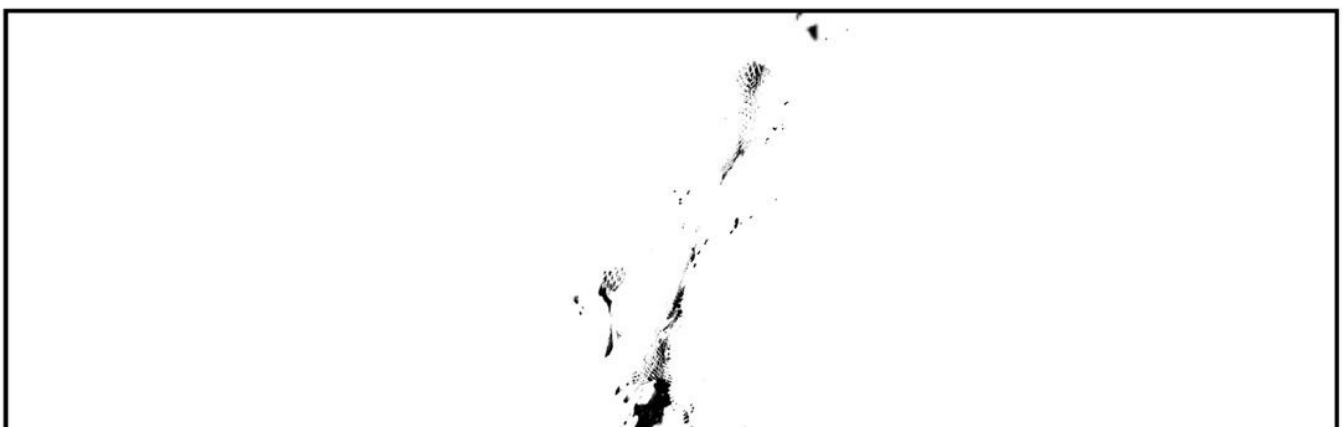
……
……
！
サッ
ゆうとタクシーは早いね。
……
はぁ…
ところで作戦はあるのか？
むやみに来てみた、じゃないだろうね？
あの女の子だな。
どこを見ても
侵食されてる。

……
ゆうと、お前…
まさか
異常事件
特殊法度第一条
怪異は
殺す。

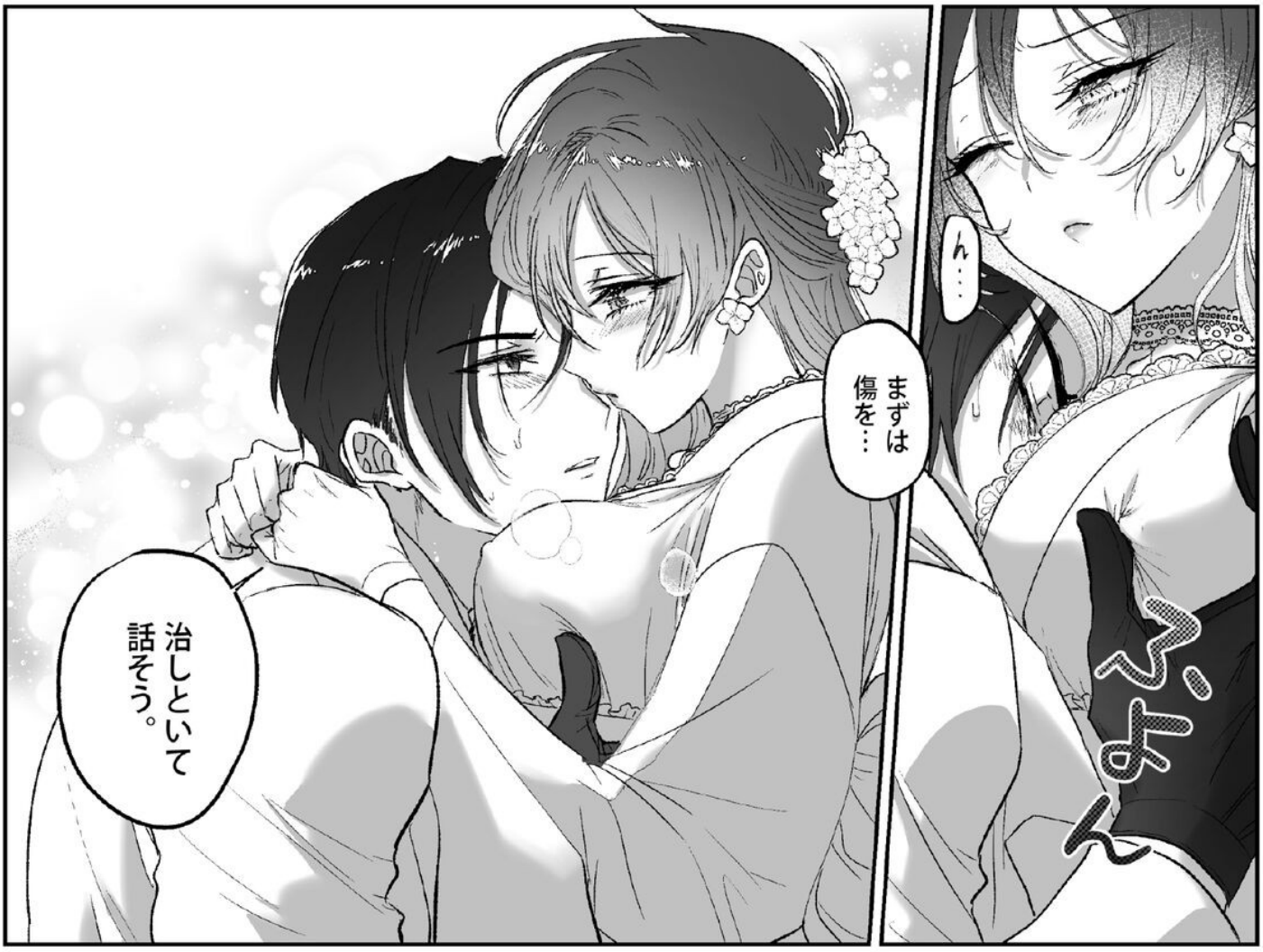
!!
タッ
止まれ、
このバカめ！


！

ちっ
おい、退け……！



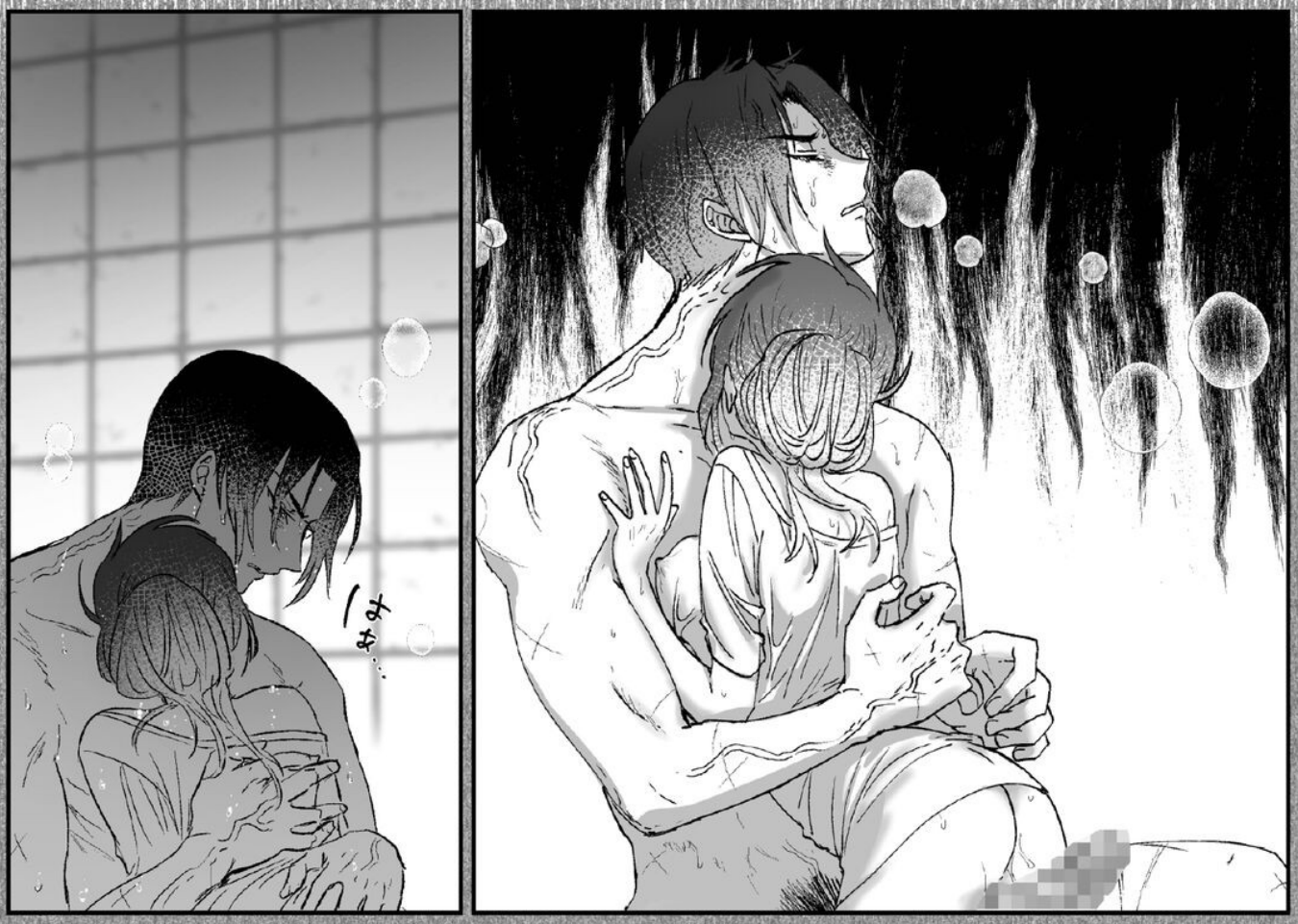
くっ…
やったな…
何のつもりだ…
妖は必ず殺しておかないと…
まさか逃すつもりだっ…
!!
ぎゅっ

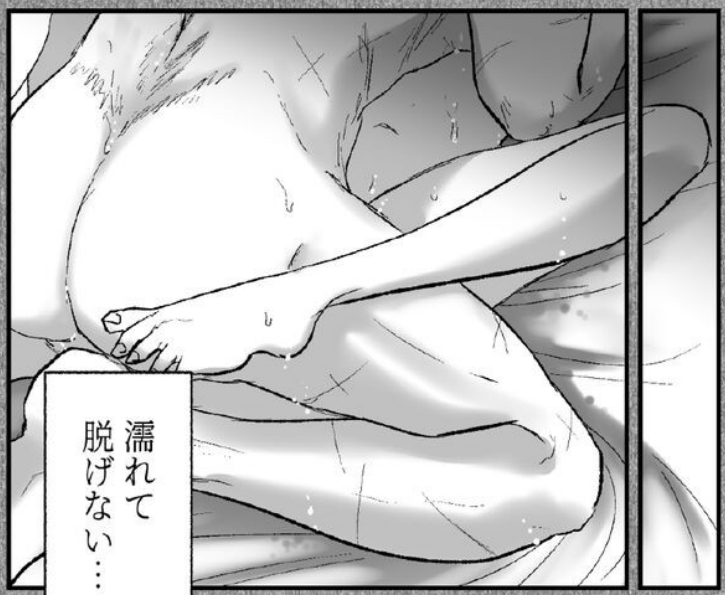

ん…
まずは傷を…
ふぁん
治しといて話そう。

お前に使った魔弾はなかなか強力なものだ。
動きをはっきり止めたくて…
特別に私の魔力を全部使って治してあげる。
ぐら

肌と肌が触れ合うほど
魔力が届きやすい…
粘膜と粘膜が一番
いいが…
お前が脱ぐのは難しいから
素肌の部分だけ触って。
くっ…
こいつ…
誘惑するのか…！

大体、
初日から…！





……！
うっ…

強力な魔弾か…
そのせいか、

はぁ…
くらっとする…
……
今は
ん…
ただ、
頭の中に
もう何も
ない…

足りない…

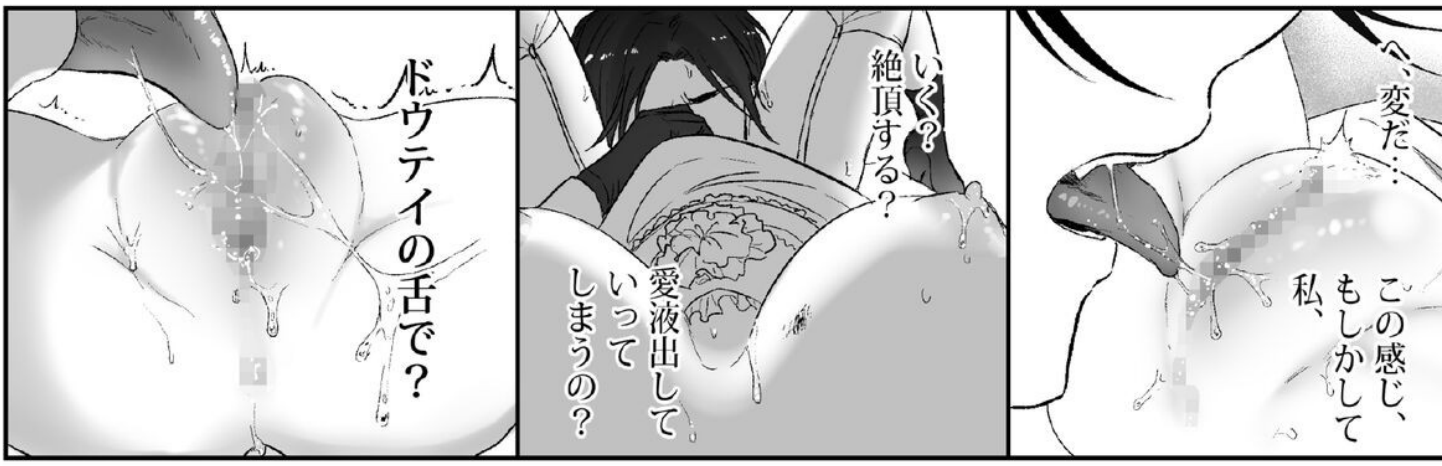
…!!
きゅっ
ゆ、ゆうと、
ちょ、
ぴくんっ♡
ん……
ちゅっ♡
待っ
ちゅっ♡
ぴくんっ♡
ば、バカ、
!!
ゆ、ゆうとぉっ
んっ
ぴくんっ♡
ぴくんっ!
そんなに噛むと……!
?!
ぴくんっ!

くぱぁ〜♡
とろぉ…
ビクンッ♡
？
？
？
？
…お前。
なぁ…。
何故毎度
下着を着ないのだ…!!
い、いきなり?!
?!
きゃあっ！

レロッ
レロッ
じゅぽっ
??
?
?
…!
!!
?
はぁ
ふぅっ
ビュッ
は?
??
?
は
ふ

……
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ

あれ？

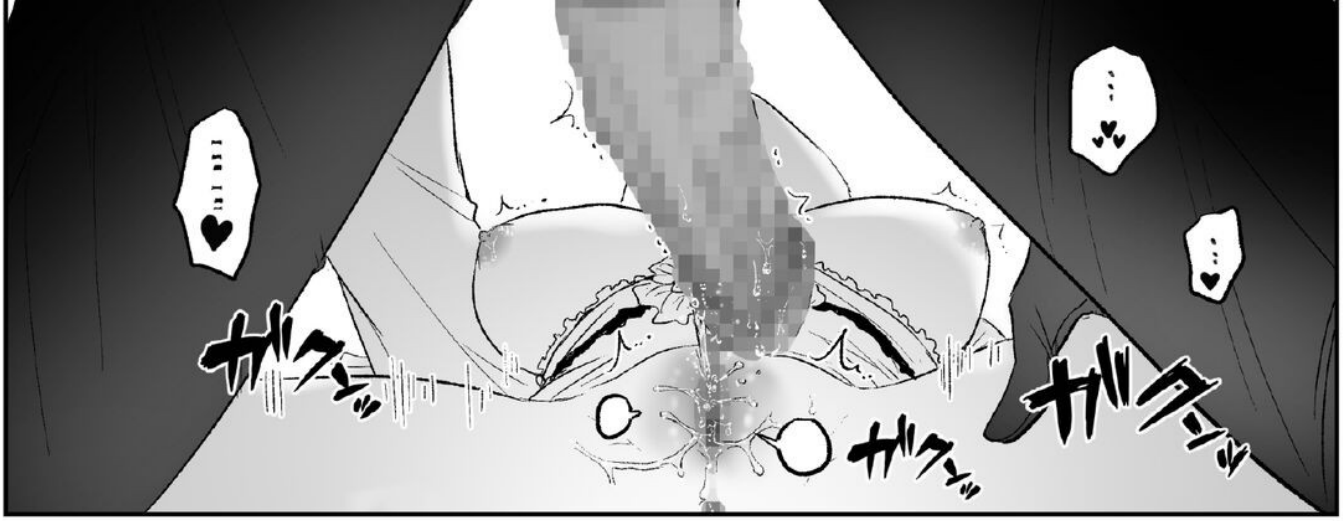

へ、変だ…
この感じ、
もしかして
私、
いく？
絶頂する？
愛液出して
いって
しまうの？
ドウテイの舌で？

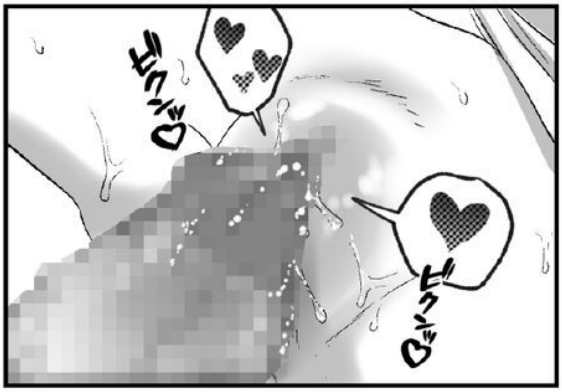
や、
やだ。

いきたく
ない。

いきたく…

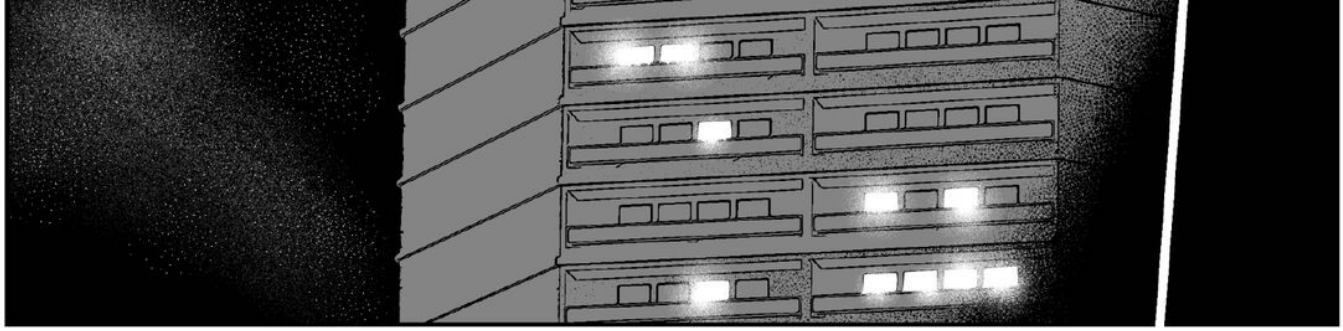
?
?
?
?
ハクッ♡
ハクッ♡
ハクッ♡


……♥
……♥
ガクッ
ガクッ
ガクッ


ビクンビクン

……
ドクン
ドクン

ちゅっ♡
……



あいつは
どこだ？

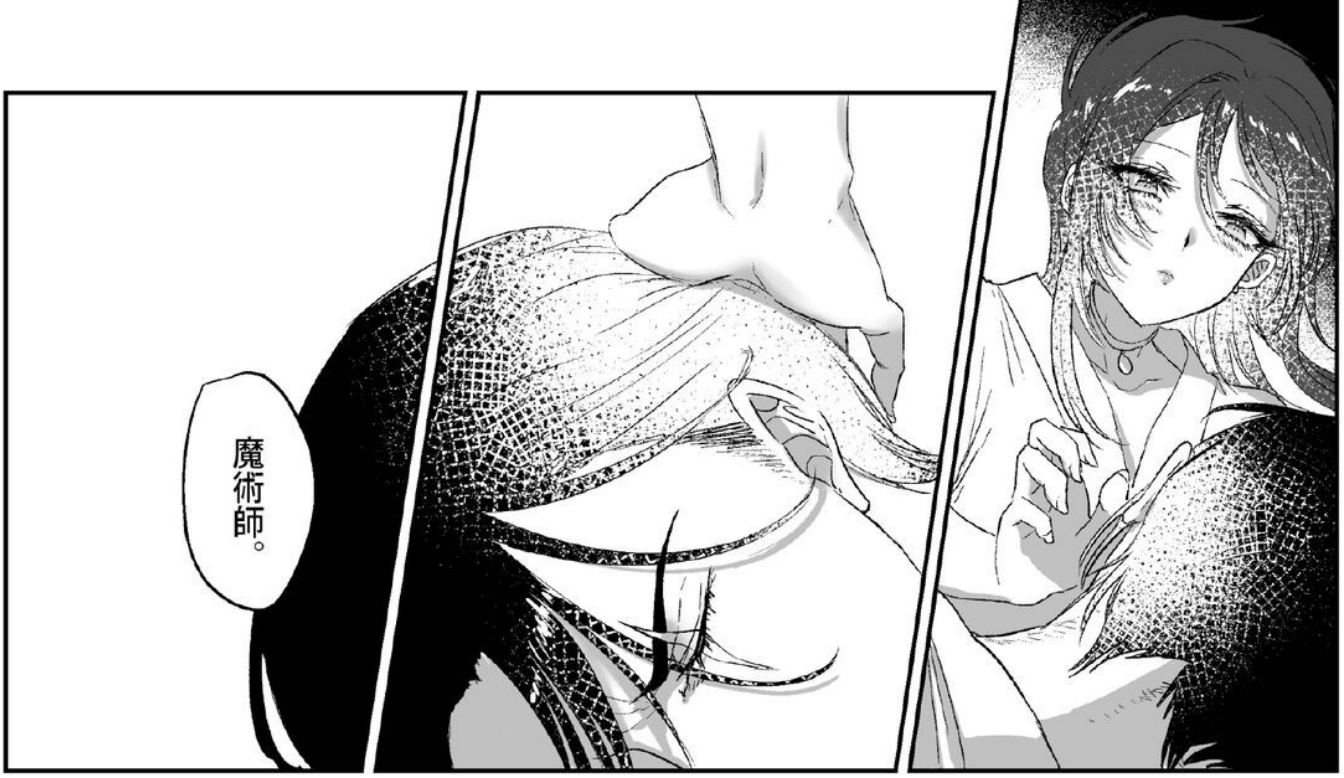
私また
気を
失ったか…

!!!…!

傷は…

ぎゅっ

治ったね。


魔術師。

お前は一体
私に何を望む…

怪異は
殺さないと
ならない。
ほったらかしては
周りを侵食し滅ぶ。
そうなる前に
消す、それが
原則だ。
公安警察として
異常事件を解決
するのは私の
義務だ。

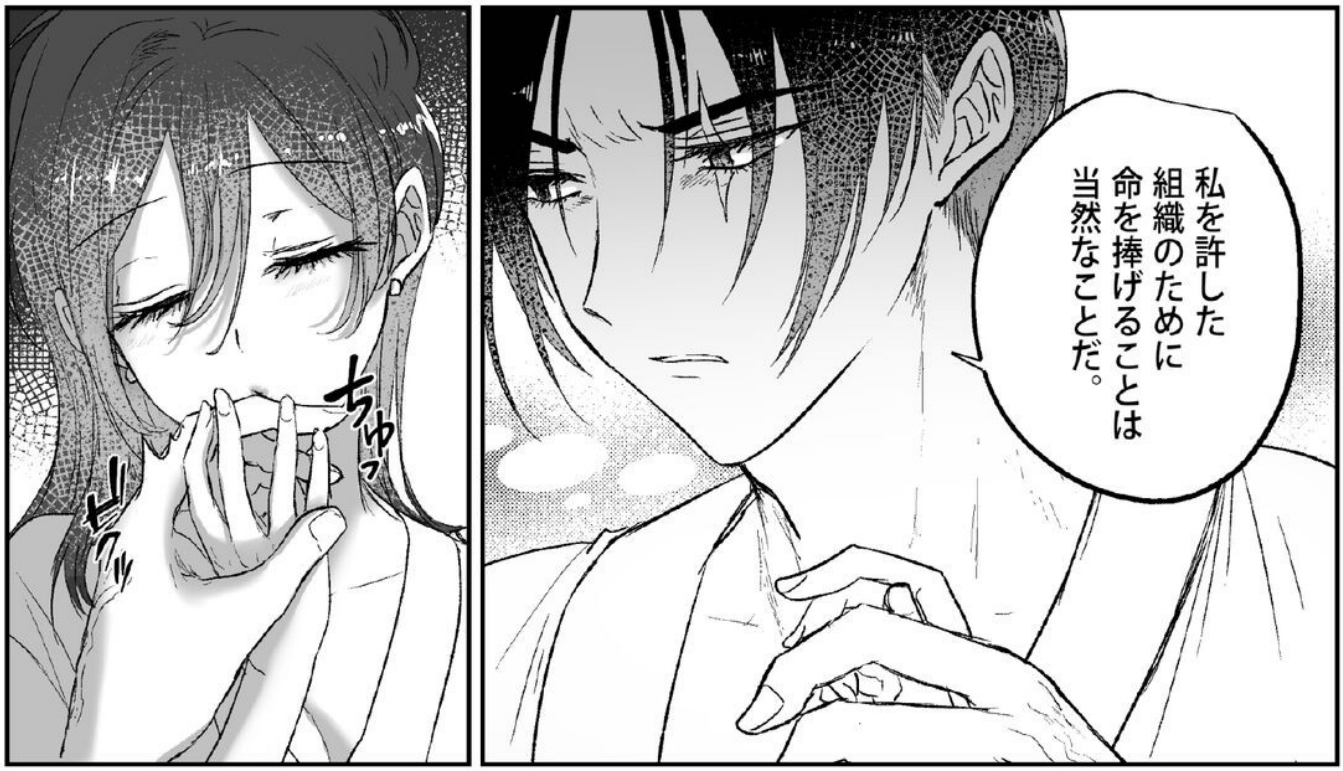
お前は
そんな私を
邪魔してる。
…前にも言ったが、
私の妹は怪異に
喰われてしまった。
私はそれを
殺さなかった。
しかしそれは
妹だったからだ。
その時だった一度の例外を
除けば私はいつ、どこでも
徹底的の特殊警察だった。
でもお前がそばに
いると私が誰だか
忘れてしまう。
頭がぼーっと
して何も考え
られない。
魔術師の
呪いか？
…だったら言え。
お前の目的を。

公安の命令か？
もしくは、
ヴァルハラ？
その時組織を
裏切った私を
消すつもりか？
あるいは任務の
邪魔をして公安を
落とすつもりか？

そんなはずない
じゃないか、
このバカ！
むしろ
逆だ！

日本に
来る前…
お前の顔を
初めて見た時

お前はどこか
とても危ういので、
放っとけ
られなかった。
まるで
任務で死ねるなら
どうでもいいと
思うように、何だか
虚しい顔だった。


私を許した
組織のために
命を捧げることは
当然なことだ。
ちゅっ

あやつり
ゆうと。
怪異を
殺すだけが
道じゃない。
魔法を
使えば、怪異も
妖も全部封印して
保管できる。

私はそのために
日本に来た。

怪異から深く
傷ついた男と
触れ合えば、

その男も救えると
期待しながら。

救う？

そう。

ゆうと。

私は世界を
救いたい。

誰もなみだを
流すこともない、

みんなが幸せに
なれる世界を
作りたい。

ヴァルハラは
その理想のために
うごいてる。

話が大きすぎる…

お前らヴァルハラの目的はそんなものか。

封印して保管するだけでは危険すぎる。

仮方便に過ぎない。

やはり、貴様らは**敵**だ。

そうかも知れないな。

しかし、

お前がまた幼い少女を切ることはいなくなれる。

私に期待し、頼りにさせて、

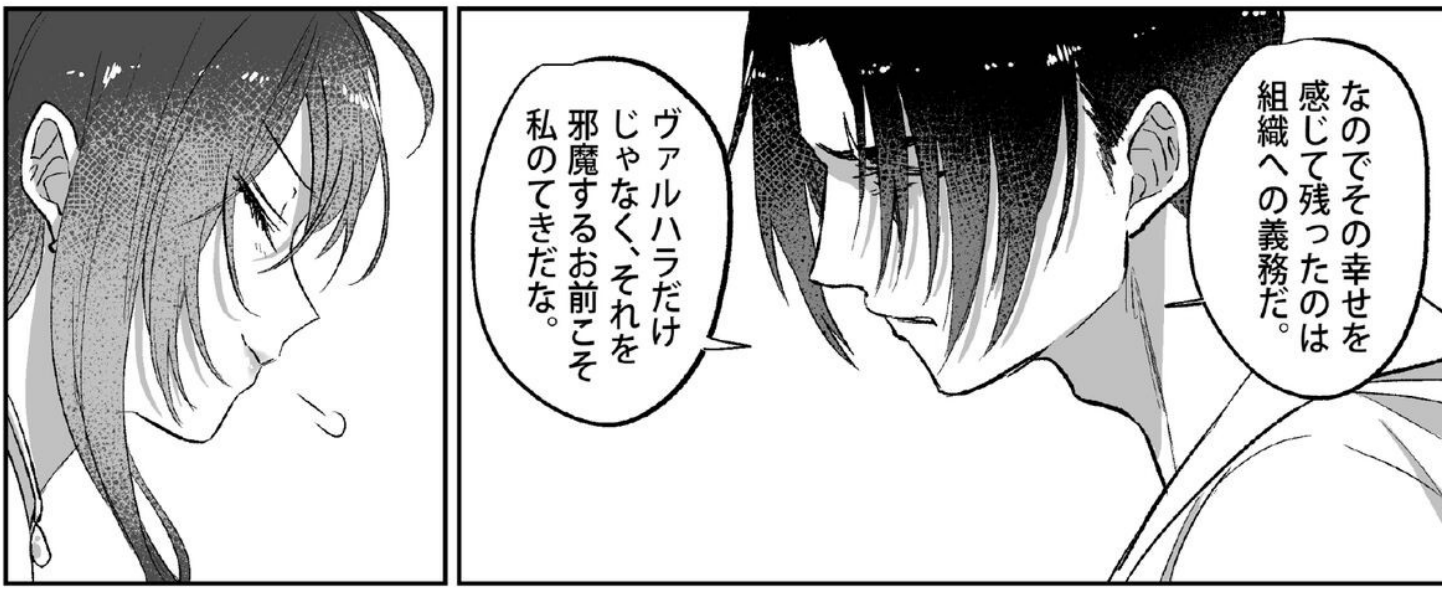
幸せを味わってくれるつもりだ。

そうして幸せを分かったやつがまた新しい幸せを作る。

そうしてまた幸せが作られて、そしてまた…

ありえなく、
とんでもなく、
笑えない狂人の
理想だな。

魔術師。
私はお前に
救われる
者じゃない。
私はすでに
代えられない
幸せを得た。
妹の
そばで、な。


なのでその幸せを
感じて残ったのは
組織への義務だ。
ヴァルハラだけ
じゃなく、それを
邪魔するお前こそ
私のてきだな。

幸せを
知ってるとは。
偉いな。
私はそれが
どうしても
分からなくて、
100年も
まよっている
のによ…

……
夜空（よぞら）
シュミット。
魔術師
じゃない。
そもそも魔法使い
じゃ無い。
お前は自身の
幸せを知らず
他人に
幸せをあげる、
と言うのか。
とても
小さくて、
つまらない
喜びくらいは
あるはずだ。
そう
なるな。
何故なら、
私が見る限り、
お前は。

女の喜びを感じる
みたいだから。
!!

封印？
保管？
世界平和？
ゆう…と？
そんなもんは
知らなくて、
興味もない。

他人の幸せを望むくせに
自分の幸せは知らない？
んっ
よく分からない
もののため、これからも
迷うつもりか？
ラっ

また旅をして、
また虚しいやつが見えたら、
あの者にも
こう言う顔を見せるのか？

他人の幸せを
望む前に、
まず、おまえが
人間としての
幸せを知れ。

初めてだから
上手ではない。

それ故これから
お前を抱く。
一応先に
言っておくが、

な、何だと?!
ちょ、待って!
ラっ
ドウテイ野郎が
生意気よ!
そ、そう!
私、元々男…!
関係
あるか?
ビクンッ♡
そこ、
弱っ…!

ゆう、
と…
はぁっ
そ、そう、
これは、
さっきの、
魔力不足な
だけ…!
はぁっ
女の喜び?
ふうっ
ビクンッ♡
ビクンッ♡
そんなの
感じるはずが
ない!
ハァ
俺は…
ハァ
ん……
俺は男…
ビクンッ♡
ビクンッ♡

ちゅる♡
…♥
ちゅっ♡
ちゅ～♡
びくんっ
やっぱこいつの
チン○挿入して
ビュービューされたい…♡

あっ♡

はーッ♡
はーッ♡

し、舌あ…
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
深いっ…
ビクッ♡
…

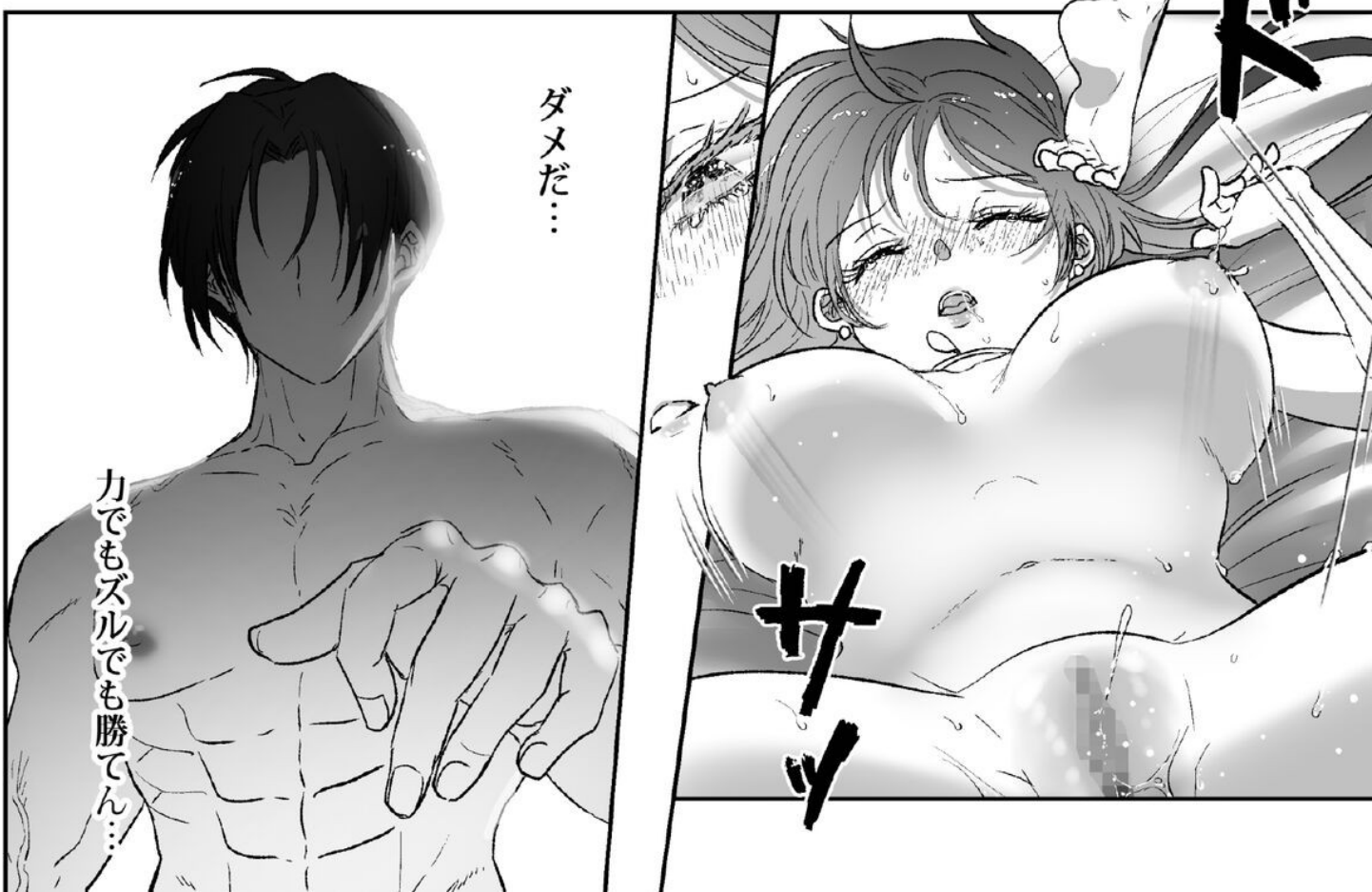
やっぱこれ、
大きすぎる…

「抱く」とは、これを…

ん〜!!
ガバッ
このっ！
ドウテイのくせに！
できる言葉はこれだけか…
!
ビクッ
おい……！
俺を抱くなんて、100年は早い！
泣かせてやる！
ムニュッ♡
ビクッ
ビクッ
きゅんっ♡
きゅんっ♡

おい、
そんなところ…
静かにしろ。
ふん、我慢しないではやくいっちゃえ、ドウテイ野郎。
くっ
ギュッ ギュッ
ふっ
うっ
なるほど分かった。
そうするのか。
うん？
はぁ
……

はっ
きゃっ…！
学習早い！
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ビクッ♡
ヌルーッ♡
ビクッ♡
じゅる〜
んん♡
?!
こ、こいつ！


ダメだ…
力でもズルでも勝てん…
ドガ
サッ

ああ…そうか。
とろぉ…
ちょっ、と、♥
ハッ
ハッ
ハァ

お前の♥
大きすぎるから…
十分に、
指で…
ヒクッ♡
ヒクッ♡

俺このまま
犯されるんだ…
ドクンッ♡
ドクンッ♡
ドクンッ♡
ドクンッ♡
…♥
ずぷ…
ビクッ♡
ビクッ♡

我慢比べには自信あり。

次回予告
ようやく体を重ねた二人
明日が来ることも忘れて
何度も何度もキスをする
自分の気持ちを
認めて
一緒にいたい、と
告げる
向かい合って笑えら
れた二人の
最初の任務の結末が
ついに！

あとがき

2023. 8. 17

こんにちは、ララブです。
本書をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。
人生で最初のエロ本なので、いろいろ不十分です。
特にエロの量が足りないので、下編を無事に描きたいと思います。

● この作品はフィクションです。実存の人物・作品・団体・出来事などとは関係ありません。
● この本は個人が非公式に発行したものです。
● 本書を転載・転売することを禁止します。
● 18歳未満の閲覧を禁止します。

● This is a work of fiction. Names, characters, places and incidents either are products of the author's imagination or are used fictitiously.
● This work is an unofficial publication by a private individual.
● Do not repost, resale.
● Adult only